

第1回 境港まちづくり懇談会

日 時：令和2年10月27日（火）13：30～15：20

場 所：境港商工会議所 大ホール

出席者：別紙のとおり

日 程：1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

4. 座長の指名

5. 座長あいさつ、職務代理者の指名

6. 協議事項

(1) まちづくりアンケートについて

(2) 公民館掲示板による意見抽出およびワークショップについて

7. その他

8. 閉 会

1. 開 会

(事務局)

皆様、本日はご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

只今より、「第1回 境港まちづくり懇談会」を開催いたします。

私は、事務局をしております「都市整備課の柏木」と申します。よろしくお願いいたします。

本市では、今年度「境港市都市計画マスタープラン」の見直しを実施する予定となっております。そこで、都市計画に関する基本的な方針について検討、協議を行い、本市のあるべき姿やまちづくりの方針を定めるため「境港まちづくり懇談会」を設置いたしました。

委員の皆様におかれましては、それぞれお持ちの専門的な知識のみならず、異なる分野による様々な視点から、忌憚のない、活発なご意見ご提言をお願いいたします。

それでは始めに、配布資料の確認をいたします。

①式次第

②都市計画マスタープラン説明

③委員名簿

④スケジュール

⑤まちづくりアンケート案

⑥掲示板ポスター案

でございます。

全てお揃いでしょうか。不足の資料があれば、お知らせください。

本日は8名の委員の方の欠席があり、委員数30名に対しまして出席委員数は22名であり、過半数を超えておりますので、本日の審議会が成立していることを報告いたします。

それでは次第に従いまして、境港市長の伊達よりごあいさつ申し上げます。伊達市長よろしくお願いいたします。

2. 市長挨拶

(市長)

みなさんこんにちは。

「境港まちづくり懇談会」の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様方には、平素から市政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

またこの度は、ご多忙にもかかわらず、委員への就任を快くお引き受けいただきましたことに、重ねてお礼申し上げます。次第であります。

さて、この懇談会におきましてご検討いただく「都市計画マスタープラン」は、長期的な視点から土地利用や都市施設整備などの方針を定め、本市の都市計画における総合的な指針となる大変重要な計画であります。

現在、プランの改定作業を進めているところでありますが、改定にあたりましては、幅広い視点から様々なご意見をいただき、地域の実情を十分に反映したものにしたいと考えております。

各分野でご活躍されている皆様方には、日ごろの活動やご経験などからの忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

この都市計画マスタープランは、境港市の総合的な指針となりますので、みなさまとじっくり検討して作り上げていきたいと考えております。

このプランの前回策定時は、私が都市整備課長を務めており、本日いらっしゃる熊谷先生も一緒に作り上げたものです。平成15年3月に策定後、17年経過していますので、状況は大きく変化しております。そこで、市民のみなさま、委員のみなさまの意見をいただく事が必要となりますので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員紹介

(事務局)

伊達市長におきましては、次の公務がございますので、ここで退席となります。

続きまして、「3. 委員紹介」でございます。

それでは、本日ご出席の委員の皆様を紹介させていただきたいと思っております。

名簿の順にご紹介いたします。

米子工業高等専門学校 熊谷 昌彦さま、西部総合事務所 農林局 農林業振興課 笠見 和昭さま、

西部総合事務所 米子県土整備局 計画調査課 米増 俊文さま、境港管理組合 下場 和重さま、

境港市観光協会 古橋 剛さま、境港青年会議所 野々村 崇さま、

境港市次世代農家の会 井上 竜輔さま、境港市教育委員会 中田 耕治さま、

鳥取県建築士会 澤田 廉路さま、境港市女性団体連絡協議会 松下 秀子さま、

航空自衛隊美保基地 酒井 明さま、境港市地域日本語教育コーディネーター 大原 浩明さま、

境港消防署 武田 博さま、境港市消防団 北村 登志生さま、

水木しげるロード振興会 池淵 朗拡さま、

境夢みなとターミナル KFS 共同企業体 (株)きさらぎ 木村 光哉さま、

SANKO 夢みなとタワー 掃部 真一、株式会社Ma o 松下 弘美、

障害者支援センターさかいみなと 進 亜紀さま、渡地区自治連合会 渡邊 冬樹さま、

外江地区自治連合会 古徳 寧さま、上道地区自治連合会 大西 毅一郎さま、

余子地区自治連合会 足穂 豊さま、誠道地区自治連合会 岩本 信二さま

4. 座長の指名

(事務局)

続きまして、「4. 座長の指名」でございます。

それでは、境港まちづくり懇談会設置要綱第4条の規定により、

座長は「委員の互選により定める」となっております。委員のみなさまから、どなたかご推挙いただけませんかでしょうか。

(委員)

事務局に一任が良いと思います。

《一同拍手》

(事務局)

事務局にお任せいただけるということですので、事務局としては、熊谷委員を座長にお願いしたいと考えておりますが、委員の皆様方がいかがでしょうか。

《「異議なし」との声あり》

それでは全会一致ということで、座長の選任が決定されました。

座長には、座長席の方へ移動をお願いいたします。

《座長が、座長席へ移動》

(事務局)

境港まちづくり懇談会設置要綱第4条の規定により、座長が議長を務めることとなっております。また、座長が職務代理者をあらかじめ指定することとなっておりますので、座長からごあいさつと、職務代理者のご指名をお願いいたします。

それでは、座長に、これ以降の進行をお願いしたいと思います。

よろしくをお願いいたします。

5. 座長あいさつ、職務代理者の指名

(座長)

熊谷です。よろしく申し上げます。

今回、都市計画マスタープラン作成にあたって、前回から17年経っており、また今年は、コロナウィルスにより、事業継続がうまくいかなかったり、テレワークの時代となった。また新市長さんになり、新しい時代を切り開く時期となっていると感じる。

この都市計画マスタープランを、みなさまとともに良いものを作りたいと思っている。また昨今、SDGsが叫ばれるようになっている。この中に“持続可能なまちづくり”という文言があるが、まさに境港市を持続可能なまちにするために、みなさまとともに考えていきたい。ぜひご協力のほど、よろしく申し上げます。

また職務代理者には、本日欠席されておられますが、米子高専の天野先生を指名させていただきたいと思えます。天野先生は、都市計画や福祉の専門家であるため、推薦したい。よろしく申し上げます。

では、さっそく議事を進めさせていただきます。

まず事務局から都市計画マスタープランについての説明を求めます。

《事務局から、「資料：都市計画マスタープランとは、スケジュール」を用いて説明》

(座長)

これまでの説明につきまして、質問のある方はいらっしゃいますか。

6. 協議事項

それでは次第に従いまして「6. 協議事項」に入ります。

(座長)

それでは「(1) アンケート案について」、事務局の説明を求めます。

「事務局から、「資料：まちづくりアンケート案」を用いて説明」

(座長)

それでは、協議に入ります。

事務局から、まちづくりアンケート案の説明がありました。

ご意見のある方は、挙手のうえ、お願いいたします。

(委員)

まちづくり総合プランと都市計画マスタープランは何が違うのですか？

アンケートの8ページにある建築物の外壁後退など意味が分からないため、注釈が必要。

外国の方も対象となるのか？その場合、このアンケートの情報だと分からないと思います。

(事務局)

都市計画マスタープランについてご説明します。これは道路であったり公園であったり都市施設の整備、また畑、住宅、工業用地などの土地利用についての基本的な方針である。まちづくり総合プランについては、ハード面の整備に加え、医療や子育てなどのソフト面の整備も含めるものである。まちづくり総合プランについては、今後5年間の計画である。都市計画マスタープランについては、概ね20年先を見据え、今後10年間の計画を立てていくものである。

2つ目のご質問についてですが、確かに意味が分かりづらい専門用語については、注釈をつけていきたい。

3つ目のご質問についてですが、まず3,000人の方を無作為に抽出させていただきます。また外国人の方につきましては、永住をされる方を対象としております。アンケートの送付先については、わたくし共で分かりますので、外国人の方につきましては、説明文や注釈をつけて送付させていただく。

(座長)

当初は、都市計画マスタープランについてのみのアンケート作成であったが、途中からまちづくり総合プランの内容も加味することとなったため、このようなボリュームとなってしまったという実情があると聞いている。

(委員)

建物ってというのは、あくまで使い方があって建物がある。そのため、その建物を利用することによって何ができるのかというのが前提となるのではないかと。

(座長)

このアンケートの中には、ソフト面の内容も入っていると聞いているが、詳しい内容の説明は、事務局にゆだねる。

(事務局)

都市計画マスタープランはハード面、まちづくり総合プランはソフト面と説明した。都市計画マスタープランでは、建物や土地利用についての基本的な方針を定めるが、背後に使い方等のソフト利用面も考えていく。一方で、まちづくり総合プランにおいてソフト面の議論をしていくが、その際に出たハード面での意見も取り入れて、総合プランと都市計画マスタープランの相互で共有して反映していく考えである。

(委員)

では施設や土地利用についての意見を言っても良いということか。

(事務局)

全く問題ございません。

(委員)

境港市の取り組みについての内容ですが、私は境港市に来て1年となるが、そもそもこれまでの境港市の取り組みについてあまり知らない。まず市民のみなさまに知ってもらう必要があるのではないかと。知っていれば評価できるが、知らない人は書けないのではないかと。市民のみなさまが細かい事を知っていれば、問題ないが、知らない人に対する配慮が必要ではないかと。

次に夕日ヶ丘地区に特化した質問があるが、夕日ヶ丘だけをクローズアップする理由は何か。境港市が力を入れてきた地区なのかもしれないが、他の地区に住んでいる方が見てどう思うのか気になる。私自身は自衛隊のため、夕日ヶ丘地区になじみがあるが、そうでない人はどうなのか。

次に私は隠岐の島出身なので、境港市について昔から知っているつもりなのだが、境港、境漁港の違いが分からない。もしかしたら私のように迷う人が出るのかもしれないと思います。

(事務局)

1つ目のご質問ですが、これまでの境港市の取り組みについて表記すべきかどうかを、これまで事務局サイドで議論を重ねてきたが、このアンケートでは、これまでの取り組みの評価というよりは、現在市民の方がアンケート項目について、どう感じているかを重視していることをご理解いただきたい。

2つ目のご指摘ですが、夕日ヶ丘については、分譲地としてこれまで境港市が力を入れてきた。その取り組みについて、市民の方がどう評価をされているのかを知りたいと考えている。もしほかの地区に力を入れるべきだと思えば、不満であると答えるであろうし、このままで良いと評価されていれば、満足と答えると想定している。あくまで今後の方向性を示すうえで必要な設問と考えている。

3つ目の質問の境港、境漁港の区別がしづらいという意見をいただいたので、注釈をつけるなどして分かりやすい表現に変更する。

(座長)

このアンケートに書かれていることは、全て境港市で現在取り組んでいる事である。また夕日ヶ丘地区では、境港市が重点的に整備を行ってきた地区だと解釈している。境港、境漁港については、クルーズ船などが停泊する港湾機能と漁船が利用する漁港としての役割だと理解している。文言の変更については、事務局に任せる。

(委員)

これまで出た意見について、境港市のこれまでの取り組みについての資料の添付や注釈を付け加えるなど修正が必要だと思う。また、このアンケートの実施期間とアンケート結果の公開はいつ頃になるのか。

(事務局)

今日の委員会の意見を踏まえて、注釈をつけるなど修正を加えた上で、来週には完成させたい。実際のアンケート実施については、11月市報に実施の掲載を予定している。その後、11月5日までは発送完了する予定。

アンケートの集計につきましては、ワークショップに入る前に、ある程度纏めて提示できるようにしたい。

(座長)

日程の話が出ましたので、いつからいつまでアンケートを実施して、いつアンケート結果を公開するのかを教えてください。

(事務局)

アンケートは11月5日までに発送し、11月30日をメ切としています。またアンケート結果集計につきましては、1月中としております。

(委員)

基本的な質問ですが、まちづくり懇談会の役割を教えてください。まちづくり総合プランや都市計画マスタープランを作成する上で、我々はどういった役割を持っているのか教えてください。

それと私は、まちづくり総合プランや都市計画マスタープランを全く知らない。これから帰って勉強しなければならぬ。

(事務局)

これから境港市都市計画マスタープランの見直しを行わなければならないのですが、そのためには、住民のみならず十分に広く意見を聞いたうえで、反映できる部分は反映して計画を見直していく。まずは、住民の皆様の意見を聞くためにアンケートを行います。その後、ワークショップなどを行っていく予定です。

そのアンケートなど意見収集の方法やワークショップの手法、都市計画マスタープラン見直し案に対するご意見を伺うことが、委員の皆様の役割になります。

(委員)

アンケートは無作為抽出にて実施するとのことですが、年代や性別、住居などのバランスはどうなるのか。

(事務局)

アンケートの抽出方法は、境港市の市民課に抽出条件を伝えた上で、収集する。年齢を16歳以上の方、男女比、地区も均等に抽出する。

(委員)

問16について、“あなたにとって”を“あなたの生活にとって”と修正すべきである。

次に、問15について、該当するすべての項目について“○”を付けるようになっているが、全て重要な項目なので、少し工夫して3つなどに絞った方がいいのではないか。

3点目は、夕日ヶ丘地区についてですが、市の行政の歩みを知っていればピンとくるが、若い世代はピンとこないと思うので、“近年開発してきた夕日ヶ丘地区”など文言を付け加えた方がいいのではないか。

4点目は、大問2から長く多い質問が並んでいるため、私なら疲れてしまう。こんなに多い質問に答えてくれないのではないかと危惧している。

5点目は、市長あいさつの背景色が見にくくなっているため、もう少し見やすい色にしてはどうか。

(事務局)

まず1点目のご指摘のありました“あなたにとって”や“あなたの生活にとって”という表現を付け加えるよう検討する。

次に2点目の問15ですが、一番重要だと思う項目1つを選んでもらうか、3つを選んでもらうか、自由項目かの3択に絞っていききたい。

3点目の夕日ヶ丘地区の表現につきましては、境港市として良好な住宅を整備するために重点的に行ってきたため、夕日ヶ丘地区とした。一方で、夕日ヶ丘地区を削除して、“今住んでいる住環境に満足しているかどうか”という設問にすべきかどうか委員のみなさんのご意見も伺いたい。

4点目の大問2につきましては、この内容につきましては、かなり前から学識経験者の方と、コンサルの方と協議をした結果、取捨選択してきた。多くの設問になっているが、全て都市計画の骨格とするための設問になっていることをご理解いただきたい。

(委員)

まず学識経験者やコンサルと協議したとのことであるが、半分は良い内容になるが、半分はダメな内容になる。そもそも論にはなるが、都市計画について何も知らない一般の市職員にアンケート内容を見てもらわなければならない。

また問15であるが、1択もしくは3択が適切ではないか。

最後に夕日ヶ丘地区についてですが、例えば注釈を入れて、“もともと良好でなかった地域を、綺麗な分譲地として公的資金を投入して整備したこと”を付け加える方が、設問の意図がぼやけなくていいと思う。市の都市計画を考えるうえで、夕日ヶ丘の名前が出ることを遠慮せずに、堂々と押し出した方がアピールになって良い。

(委員)

昨年、青年会議所で2,000名の方にアンケートを行ったが、かなりの方から回答をもらった。自由意見欄にたくさん書いてくれる方も多くいた。せっかくなので、自由記入欄は、もっと大きくとってもらっても良いと思う。

コンピューターによって無作為抽出するとのことだが、地区によって人口分布も違うので、偏りのないように抽出してほしい。

(座長)

問15につきましては、3つくらい選んでもらう方法で良いと思います。また夕日ヶ丘地区につきましては、注釈をつけることでそのまま残す方向で良いと思います。あとは自由記入欄を増やした方が良いという意見もありましたので、自由記入欄を大きくするという事でみなさまいかがでしょうか。

《一同同意》

(委員)

大問2の“産業について”、“観光について”の設問についてですが、新型コロナウイルス感染拡大環境下において、大きな打撃を受けている分野であり、普段よりもネガティブな意見が多くなると想定される。例えば“米子空港において、国内や海外との定期路線の利用促進が図られている”とか“クルーズ客船が寄港し、経済効果や賑わいが創出されている”など昨年まで活気があった分野が、現時点で休止しており、どうしてもネガティブな印象が強く、今後10年を見据えたアンケートにするにしても、今年の印象に引っ張られてしまうのではないかと。

(事務局)

短期的にみると、ポストコロナということで、ネガティブな意見が増える可能性もあるが、あくまで市民の方の今現在の気持ちを知りたいという意図がある。

(委員)

委員のおっしゃられるとおり、現在厳しい状況ではあるが、今年やる事には非常に意味がある。コロナ以外にも、国勢調査が実施される年であるため、アンケートを取るには最適な時期である。今年に限って言えば、コロナがあった年であるため、意見がシフトする可能性がある旨の注釈を入れれば良い話である。

(座長)

ではこの設問は残すということで良いですね。

《一同同意》

(委員)

市長さんの公約を盛り込む必要があると考えている。例えば、高齢者対策や少子化対策など多くの公約についてもアンケートの中に落とし込まれてなければならない。その中でも、“海を守る環境づくり”“生活環境対策”についての項目が、このアンケートの中に無いように感じる。もう少し市民の方に聞いても良いように思うがどうか。

(事務局)

このアンケートには、市長公約についても盛り込んである。ご指摘のあった“海を守る環境づくり”“生活環境対策”については、環境面の内容として盛り込んであるが、確かに細かい設問としては挙げていないので、一度検討させていただきたい。

(座長)

当初、都市計画マスタープランのためのアンケートとして作っており、どちらかという都市計画寄りの設問になっているということだと理解していただきたい。

(委員)

私は知的障がい児をお預かりするというサービスを提供している。今更このアンケートに記載していただくのは難しいとは思いますが、現在境港で、“障がい児”を預かる事業所としては、我々の事業所が第1号であるが、高校を卒業してから“障がい者”になった時の支援ができる施設がなく、米子市に頼らざるを得ない状況である。そのため境港に住みたくても、悲しいかな米子に住民票を移さないといけない。インクルーシブ的に、障がいがあっても無くても、境港で豊かに暮らしていけるような内容を、都市計画マスタープランに盛り込んでもらえる

幸いです。

(事務局)

3ページの設問を見てもらいたと思いますが、“地域で安全に暮らしていける”という内容を盛り込んである。今後、住民の方から意見をいただくような機会を設ける予定であるので、その場でも意見をいただきたいと考えている。

(座長)

都市計画マスタープランのアンケートの中に、すべての内容を網羅することは難しいかもしれないが、今後公民館への掲示板やワークショップなど次の段階でいろいろな意見を吸い上げたいと考えている。

(座長)

これまで多くの意見を頂戴したが、その意見を反映した修正案を事務局で作成してもらい、大変申し訳ないが、それを私が確認させてもらった上で、完成とさせていただきたいがどうか。

《一同同意》

(座長)

それでは続きまして、「(2) 公民館掲示板による意見抽出およびワークショップについて」事務局より説明を求めます。

《事務局から、「資料：公民館掲示板」を用いて説明》

(座長)

それでは、協議に入ります。

事務局から、公民館掲示場案の説明がありました。

ご意見のある方は、お願いします。

(委員)

この掲示板は、公民館に掲示する際に、説明なしに掲示するのか。

(事務局)

公民館のスタッフのみなさんに、市民の方に説明できるようにレクチャーする予定である。また公民館のスタッフの方との協議を行い、市民の方が答えやすい最善の方法を考えていく予定である。

(座長)

事務局からありましたとおり、公民館の方としっかり話し合いをしてもらって、市民の方がどうやったら答えやすいか考えてもらいたい。

(委員)

公民館に足が向く世代は、正直言って限られている。若い世代の方が答えやすいように、インターネットなどでも意見が言えるような形をとってほしい。

(事務局)

ご意見を伺う方法としてインターネットの活用としては、ホームページや SNS を活用した意見の募集の検討も行いたい。

(座長)

他に意見はありますか。事務局におかれましては、インターネットや SNS を活用した意見収集方法についてもう少し検討を進めてもらいたい。

ということで、もし意見がなければ、公民館掲示板による意見抽出およびワークショップについての協議は以上としたい。

他に何かこれは言っておきたいという方はいらっしゃいますか。

それでは続きまして、(7) その他について 事務局より何かありますか。

7. その他

(事務局)

みなさま本日は、大変お忙しい中忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。先ほど熊谷座長様からありましたとおり、いただいたご意見につきましては、事務局ができるだけ反映修正します。修正したアンケートにつきましては、座長様へ一任いただければと考えておりますが、いかがでしょうか。

《一同同意》

(座長)

了解いたしました。ということで、他にみなさまからご連絡等ありましたらお願いします。

(委員)

本日の懇談会では、事務局の方の声を背中から聞く形になっていたため、次回の懇談会からは、もう少し顔の見える形で配席を考えてもらえれば幸いです。よろしくをお願いします。

(委員)

最近、市民の意見を聞く方法が変わってきていると思っている。新聞も若い人はとっていないし、市報も自治会に入会していないと届かないので、市報も見えていない。ではどうやって市民に伝えるのかを考えると、先ほどから意見に出ているとおり SNS かなあと思っている。また大きな市町村については、公式の LINE アカウントを持っている。その LINE アカウントを登録さえすれば、気軽に情報を得ることが出来るのではないか。例えば、境港市でコロナ感染者が発生した場合、LINE で市が送信すれば良いと思うので、今後のメディアの対策についても市として取り組んでいただければ、この会の意味も増してくると思いますので、よろしくをお願いします。意見でした。

(座長)

ありがとうございます。今の意見は、このコロナの時代に非常に重要な事ですので、LINE 等の SNS を使って情報発信することについて、市としても時代に遅れないようにお願いしたい。

他に意見はありますか。ないようでしたら、本日の協議事項は以上となります。

委員の皆様におかれましては、長時間わたっご協議いただき、ありがとうございました。

8. 閉 会

(事務局)

座長をはじめ委員の皆様、長時間にわたりご協議いただき、誠にありがとうございました。これをもちまして、「第1回 境港まちづくり懇談会」を閉会いたします。

みなさまおつかれさまでした。